

令和3年度いわて若者アイデア実現補助事業：採択団体一覧

令和3年6月11日(金)
いわて若者カフェ(岩手県公会堂地下)

No.	分野	事業名	応募団体	事業概要
1	復興1	中学生文化祭のためのキャンドルホルダーの作成～3.11 若者の思いをキャンドルホルダーで形に～	つむぐ	東日本大震災から10年が経過し、震災を経験した世代とそうでない世代がいる中で、キャンドルホルダーを子供たちと作成・共有することで、慰霊と復興への思いを目に見える形にする。復興への願いや思いを灯りに託し、後世に残すことを目的とする。
2	地域1	#e街いわてキャンペーン	岩手eスポーツ協会	eスポーツイベントをきっかけに再発見された岩手県の魅力を個人で発信・拡散してもらうことを促すために、Instagramのハッシュタグ投稿キャンペーンを実施する。各月投稿写真から3点をピックアップし、#e街いわてアンバサダーとして岩手県の産品などをプレゼントすることで投稿を促進し、様々なエピソードと共に岩手の魅力を岩手県民のみならず全国へと伝えていくことを目的とする。
3	地域2	おでつて古館！利き酒大会～地元の魅力再発見＆発信プロジェクト～	古館まちづくりの会情報発信チーム	若者がイベントの企画運営を行い、自ら活躍する場を創る機会を設けることで、若者が主体的に地域活動に参加・交流する機会を確保し、地域の活性化につなげていく。住民交流イベントとして「利き酒大会」を開催することで、若者世代が交流し地元の魅力を知るきっかけをつくり、それを継続的に発信できる仕組み作りを行うことを目的とする。
4	地域3	葛巻町ゆかりの木彫り熊展	木彫熊通信社	かつて葛巻町では木彫り熊が作られていたが、現在は持ち主の高齢化が進み、忘れ去られていく過渡期にある。木彫り熊の展覧会を行うことで、世代間・地域間の交流を促すとともに地域の風習や文化を学び次世代へと繋いでいくきっかけを作り、新たな地域づくりの糸口にすることを目的とする。
5	地域4	いわて謎ツアープロジェクト2021『ツナガリ』	PLELL	複数地域において「ツナガリ」をテーマに若者を主対象とした体験型イベントを開催することで、各地域内・各地域間でイベントを通じた交流を図り、また、イベント開催前後にも継続してツナガリが持てるようにし、各地域間の若者コミュニティの活性化を目指すことを目的とする。
6	地域5	「子供達に『笑顔』と『楽しい思い出』を」サンタクロースプロジェクト	NPO法人チャリティーサンタ盛岡支部	子供達に「特別な思い出」と共に「いつもキミのことを見守っている大人がいる」というメッセージを届けることで、一人一人の自己肯定感を高める。また、貧困家庭などの困窮する過程には無償で実施することで、体験の格差を無くし心の健康を提供することで、子育て支援とSDGsの5つの課題へとアプローチしていくことを目的とする。
7	地域6	いわて的オンラインコンテンツによる「いわて圏民」拡大事業	一般社団法人いわて圏	新型コロナウイルスの感染拡大により都市部在住の岩手県出身者や岩手ファン（以下、「いわて圏民」）との関係が疎遠となったり、都市部の暮らしに疲弊したり、限界を感じつつある人も多数いることを受け、「いわて圏民」が岩手への想いや指向を岩手に向けていくためのオンラインコンテンツを複数展開し、UIターンの意識を醸成することを目的とする。
8	地域7	イーハトーブまち塾2021	HANALLE→（ハナレヤ）	学習機会・社会体験の格差や若者の地域理解の希薄化などが花巻市における若者流出における課題であるとの仮説の元、高校生に向けた地域社会への関わりの場を創出し、将来地元へ貢献できる人材を育成することを目的とする。
9	地域8	完全県産ビール開発プロジェクト	岩手大学クラフトビール部	小ロットの製麦設備を開発し、完全県産ビールの製造を行う。製造した完全県産ビールは、生産コストのかかる初期は比較的裕福な富裕層をターゲットにSDGsブランド・地元ブランドとして販売し、その後、一般消費者向けの販売に移行していく。地産地消ビールの生産から販売までのモデルケースを示すことで、全国各地で小規模の地産地消のビール造りを行えるようにすることを目的とする。
10	地域9	SIMulation Moriokaを軸とした人材育成プロジェクト	ドリーム・シード・プロジェクト	自分たちの街がモデルの架空都市を舞台として、未来の社会課題を題材に対話によって解決策を導き出し、理想のまちをつかっていくコンセンサスゲームの体験会を行う。政策決定プロセスの疑似体験を通じて、自分たちの選択によって未来を変えられるという実感を得てもらうことで、岩手の関係人口を創出することを目的とする。